

# 泉源集中管理に補助金の適用を

28日、党日田市議団は党大分県議団、田村国会議員事務所と連携し、オンラインで経産省中小企業庁の担当職員と「なりわい再建補助金」について要望しました。これには天ヶ瀬温泉の旅館経営者も参加しました。

被災旅館経営者は、玳珠川河床に点在する泉源確保を前提に、泉源を集中管理するシステム導入への「なりわい再建補助金」の適用、同補助金の期限を切らない柔軟な適用、営業再開

までの財政支援を求めました。旅館経営者の阿部氏は「泉源が確保され、集中管理する方向が定まれば地元は河川改修にも前向きに取り組める」と訴えました。同じ旅館経営者の関根氏は「補助金から災害保険金分が減額される問題を指摘。田村貴昭衆議院議員は「新しい補助制度どう適用するのか各省が連携し支援を」と強く求めたのに対し、国は「補助金の趣旨を金融機関に伝え、指導する」と答えました。

## 党日田市議団 党大分県議団 オンラインで政府交渉



▲左上は経産省、左下は日田事務所、中下は田村議員  
▼左から真島、日隈、大谷、阿部、関根の各氏

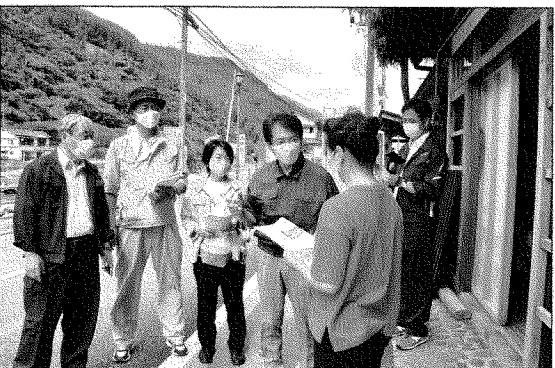


真島前衆議院議員、仁比前参院議員は「補助金を使う前に事業者が息切れしないように国の支援が必要」「三重苦の被災者と地域の願いにこたえる施策を」と強く要望しました。

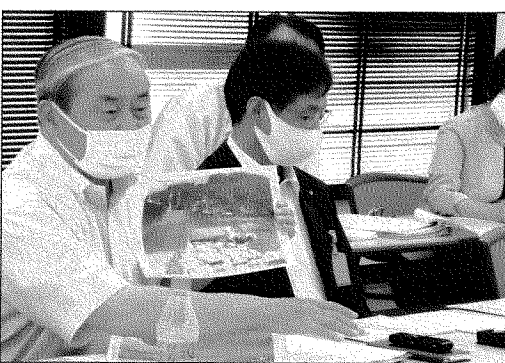
## 天ヶ瀬温泉街の復旧・復興 田村貴昭衆議院議員が再訪問



▲左から大谷、旅館経営者、堤、田村、猿渡、日隈の各氏



▲左から大谷、堤、猿渡、田村、旅館経営者、日隈の各氏



▲写真を示し改善を求める大谷・日隈市議

27日、田村貴昭衆議院議員は天ヶ瀬温泉旅館などの復旧・復興について、旅館経営者を訪問し、なりわい再建補助金4分の3を大分県が上乘せして6分の5の補助率にしたこ

とを説明し、激励するとともに、防災・減災の河川整備と安全なまちづくりの課題について、意見要望を伺いました。堤栄三、猿渡久子党県議、日隈、大谷両市議も参加。

24日、大谷、日隈両市議は国交省九州整備局に、三隈川の堆積した土砂撤去、南友田地区堤防の整備、庄手川の堤防整備と徳瀬橋の架け替え、北友田地区の浸水被害の対策について要望しました。